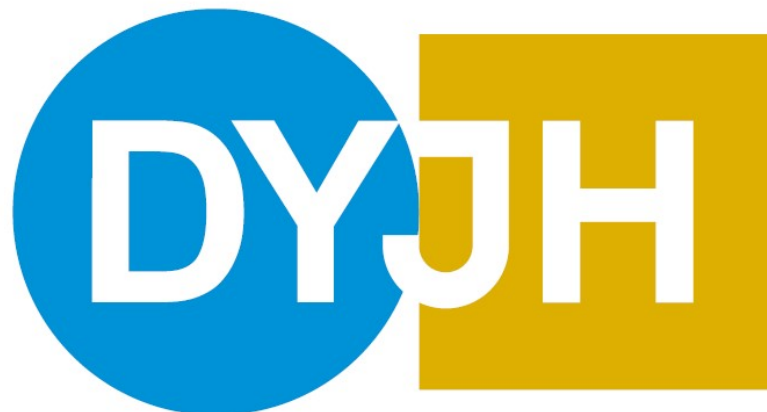




ダイナムジャパンホールディングス

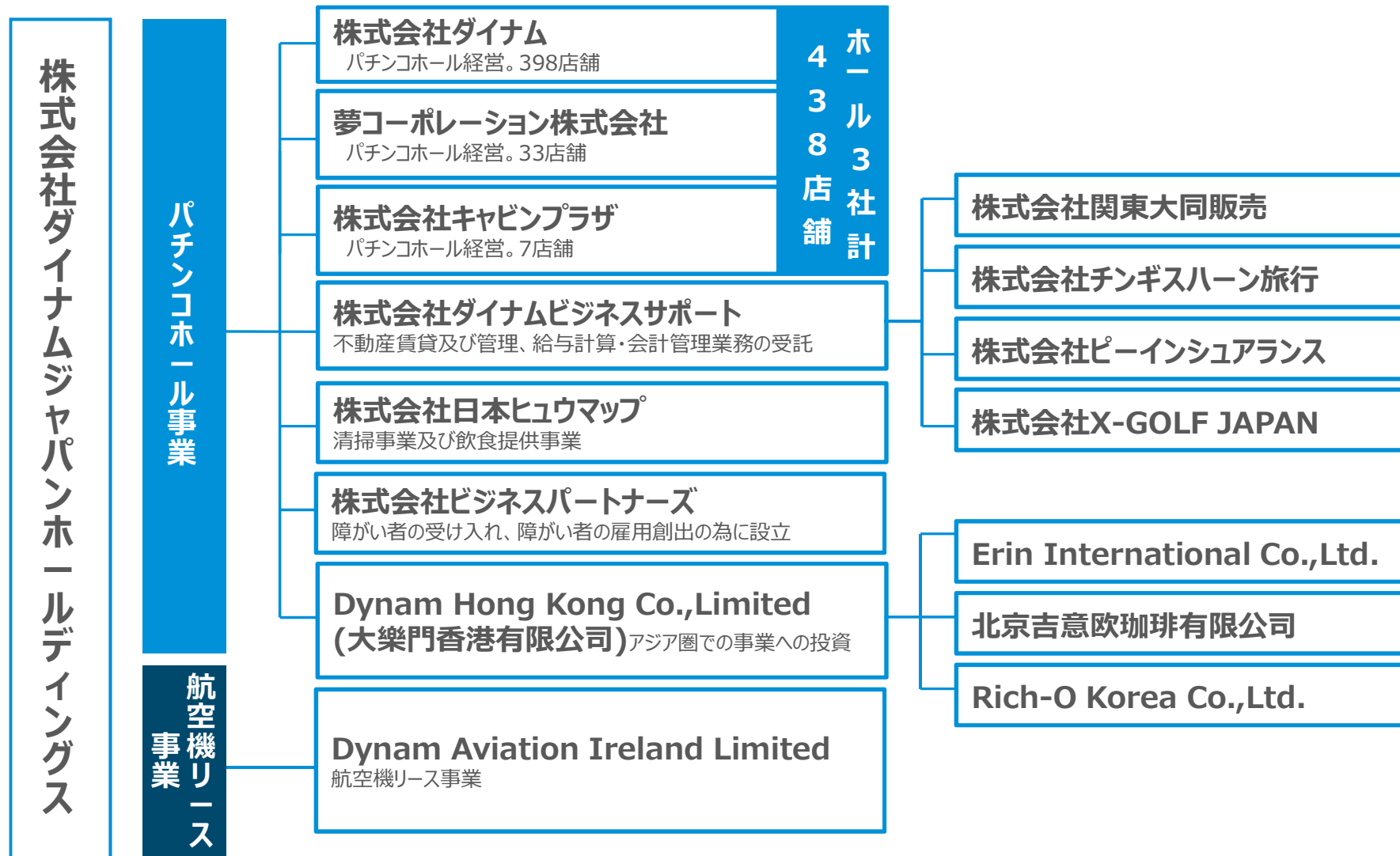
2022年3月期 中間決算説明会
(参考和訳)

2021年11月25日

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

DYJHグループ企業組織図（2021年11月25日現在）



1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期	前年同期比	増減
営業収入	50,897	45,992	110.7%	4,905
営業費用	47,259	48,922	96.6%	▲1,663
営業利益	6,714	2,781	241.4%	3,933
中間利益	3,416	689	495.8%	2,727

昨年の4月、5月に対応した業界挙げての店舗休業がなく営業収入は、対前年同期比で増収を確保するもコロナ禍前の水準にはキャッチアップできていない。

2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

（単位：百万円）

	当中間期	前年同期比	増減	概要
営業収入	47,222	111.2%	4,765	—
機械関連費用	4,974	98.0%	▲99	当期より遊技台の平均使用実績が2年を超えている状況から、購入時に費用処理する会計処理から固定資産に計上し、2年間で減価償却する方法に変更。 その結果、機械関連費用は、対前年同期比較で横バイの実績。
人件費	18,920	97.7%	▲445	店舗運営人件費の削減
その他費用	20,892	102.3%	472	販促目的の広告宣伝費増加
営業外損益	2,106	64.7%	▲1,149	国からの雇用調整助成金受取額の減少
経常利益	4,542	531.9%	3,688	—

※パチンコホール事業の中核会社（ダイナム）の日本基準での中間決算数値

2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

2021年9月30日現在

項目	当中間期	前中間期	増減	概要
店舗数	398店舗	404店舗	▲6店舗	新規開店：なし 閉店：日立店、佐賀神埼店、鳥取安長店 愛媛今治店、栃木小山喜沢店、都城店
パチンコ稼働率 (※①)	29.9%	27.3%	2.6pt	競合店差+3.2pt (※②)
スロット稼働率 (※①)	25.1%	27.6%	▲2.4pt	競合店差▲1.0pt (※②)
設置台数	186,851台	189,339台	▲2,488台	設置台数業界シェア 4.7%
P B機設置台数	19,436台	14,969台	+4,467台	設置割合14.8%（前期差+3.6pt）（※③）

※① 稼働率…ピーク時（15時前後）の[実客数／設置台数]2021年4月1日～2021年9月30日の平均

※② 競合店の値は全国のダイナム店舗近隣に所在する1,200店舗に対して実施する客数調査をもとに算出

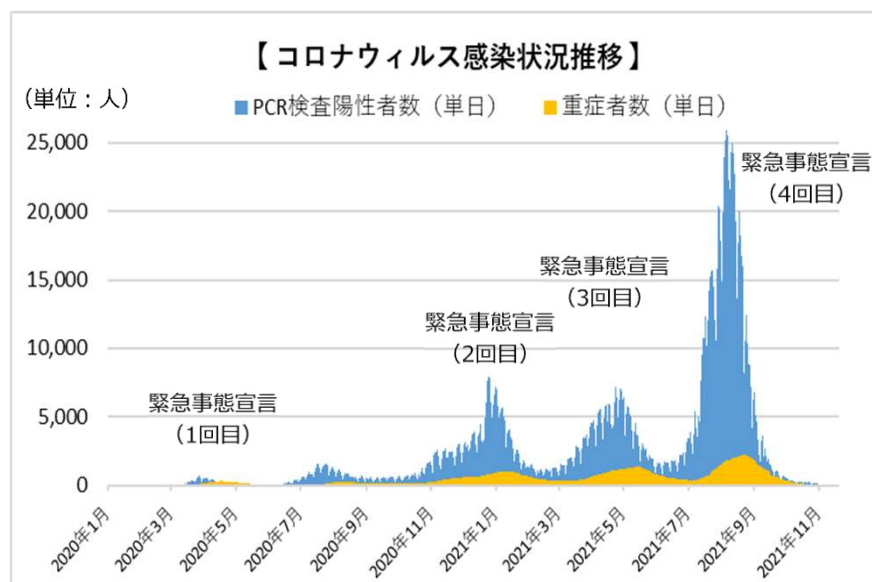
※③ 設置割合はパチンコ設置台数に対する割合

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

3. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

（1）日本におけるコロナウイルスの感染状況

- 新型コロナウイルスの感染状況は、5月に第4波、8月には第5波が訪れ4回目の緊急事態宣言が発令されたが、9月末に解除。現在の感染者数は第5波のピークの1%以下となっており、経済活動の再開に向けて段階的な制限緩和が進んでいる。
- ワクチンの接種も進んでおり、全人口の約75%は2回の接種が完了。
20歳以上に限定すると約82%が2回の接種を完了。



◆ワクチン接種状況（11/12 政府公表値）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	全体
人口 (千人)	12,820	14,373	18,424	16,811	15,510	16,227	114,618
2回接種完了者	66.0%	69.3%	76.4%	84.8%	87.7%	92.8%	74.7%

	20歳代以上	30歳代以上	40歳代以上	50歳代以上	60歳代以上	70歳代以上	全体
2回接種完了者	81.6%	83.8%	86.5%	89.6%	91.4%	93.4%	74.7%

3. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

（2）自社顧客の推移

- 長引くコロナ禍、GWやお盆といった活動期を直撃した感染拡大により、足元では感染は小康状態であり、また、ワクチンの接種も進んだにも関わらず、コロナ前と比較すると集客は回復していない。（表②）
- 今期に入ってから年代別では、若年層は回復傾向にあるが、高齢層の回復が遅れている。

表①）2021年 年代別客数変化

年代	客数構成		客数変化 (9月÷3月)
	3月	9月	
20代	5%	6%	120%
30代	12%	13%	109%
40代	18%	18%	103%
50代	19%	19%	100%
60代	23%	22%	98%
70代以上	22%	21%	95%
総計	100%	100%	101%

※自社会員データより、2021年3月と、2021年9月の来店純人数から算出

表②）コロナ前後でのお客様の来店状況

年代	来店復帰率
20代	80.8%
30代	75.9%
40代	76.5%
50代	75.1%
60代	76.3%
70代	71.9%

※自社会員データより、コロナ前の2019年2月と、
コロナ後の2021年9月の来店純人数から算出

3. 基幹事業（パチンコホール事業）の新型コロナウイルスへの対応

（3）客数回復に向けて

客層に合わせた 対応	年代	商品構成	販促活動	対策期間
	若年層	1/200、1/300タイプの 台数構成を増加	SNSでの ターゲティング広告	短期
	高齢層	海物語シリーズ を適正台数へ減台	集客期での TVCM・DMなど 受動的視聴	中長期
コロナ対策	検温・消毒・マスク着用・ソーシャルディスタンスの維持等の対策を継続する事で、 行動を抑制している高齢者の再来店を促進。また、コロナ再拡大を抑止。			
安定利益	◆現状の回復水準が長期化した場合でも安定的に利益が出せる体質への改善 ・遊技業収入の増加 …… P/S比率・レート構成・タイプ構成の見直し ・人件費の効率化 …… ローコストオペレーションモデルの更なる推進 ・機械費 …… 単価低減と適正管理（回転率・分配率）			
成長戦略	新規出店の再開と不振店の撤退 …… 店舗数の増加により既存店減益を補う			

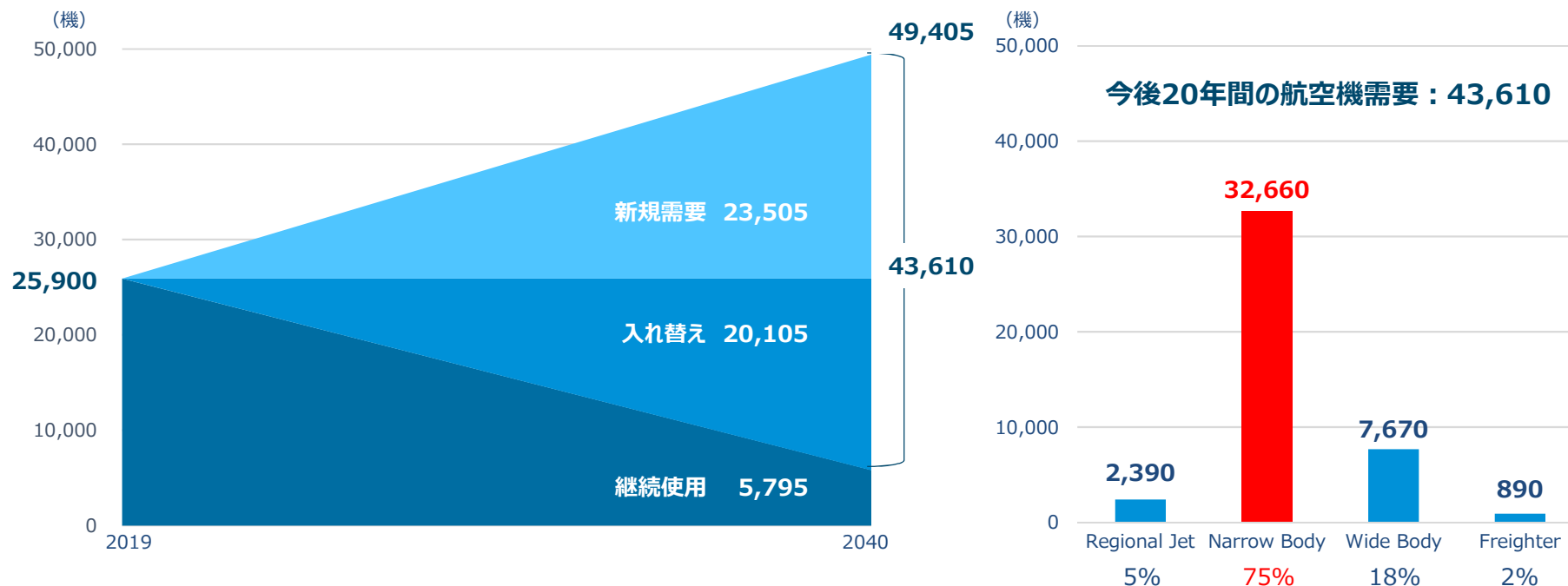
1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

4. 航空機リース事業

■ 事業環境

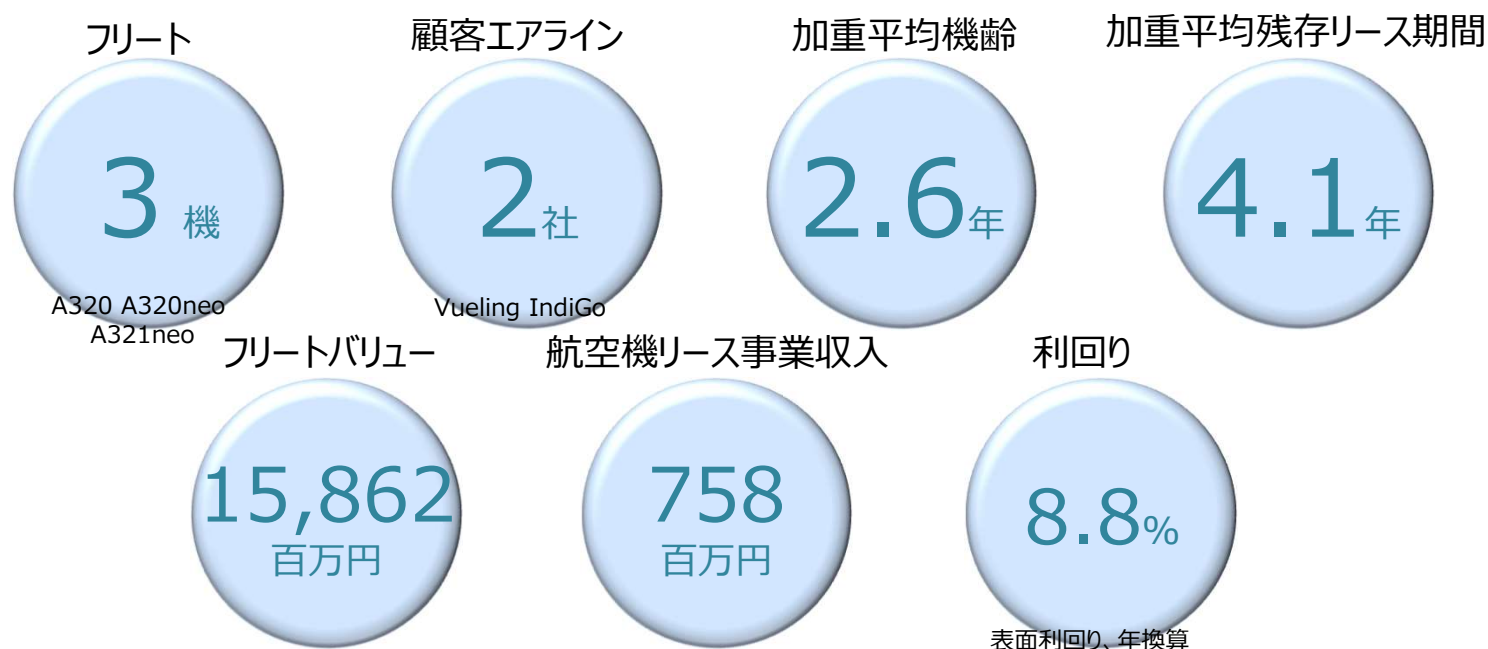
- ・ボーイング社のマーケット見通しによると、今後20年間の旅客輸送量は平均で4.0%伸長し、2040年までにナローボディ機を中心に43,610機の新規機体の需要が発生すると見込まれており、世界の航空機需要の拡大は続くと予想している。
- ・なお、短距離国内線の需要は回復しつつあるが、長距離国際線の需要回復時期は2023-2024年の見込み。

<今後20年間の航空機需要予測> 「Boeing Commercial Market Outlook2021-2040」資料より



4. 航空機リース事業

■ 当中間期末の状況



■ Wizz Airとのセールアンドリースバック（SLB）取引について

- ・2021年10月、ハンガリーのLCC Wizz Airと航空機3機をSLB取引により購入する契約を締結。
- ・機体の引き渡しは、2022年4月-6月に2機、7月-9月に1機の予定。

4. その他事業～カジノ向けビデオスロットの開発～

■ マカオ市場

単位：百万円

カジノ総粗利	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	109,929	100,174	113,792	115,094	143,097	89,530	115,683	60,855	80,542
2019年対比	32.2%	28.8%	32.1%	35.6%	40.2%	27.4%	34.5%	18.3%	26.6%

出典：DICJホームページ（マカオゲーミング管理部門）ゲーミングの月間総粗利の数値を基に作成

カジノ総粗利は5月にコロナ前の2019年対比で約40%回復も、その後は中国本土の感染拡大等で回復は停滞
 カジノオペレーターとは定期的なコンタクトを取っているが、市場回復にはまだ時間がかかるとの認識
 ⇒市場が正常化次第、トライアルを含めた販売活動を再開

■ 開発認可

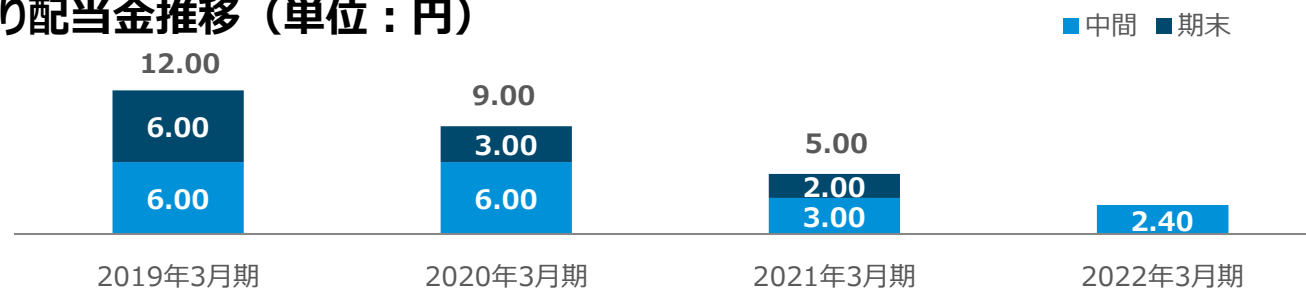
現状マカオで6機種、シンガポールで5機種の認可を取得
 今後マカオだけでなく、市場回復に応じてアジア圏での販売活動を計画

中間配当金 1株当たり配当金2.40円

■ 配当額

	当中間配当	前中間配当	前期期末配当
配当基準日	2021年12月13日	2020年12月14日	2021年6月7日
1株当たり配当金	2.40円	3.00円	2.00円
配当金総額	1,756百万円	2,277百万円	1,505百万円
配当金支払日	2022年1月12日	2021年1月13日	2021年6月25日

■ 1株当たり配当金推移（単位：円）



（参考）当中間において、自己株式 21,195,400株（発行済株式の約2.8%）の市場買付を実施しております。 15

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務概況

5. 財務概況



連結損益計算書 (IFRS)

(単位：百万円)

	前中間期 (2020/9)	当中間期 (2021/9)	増減	補足説明
営業収入	45,992	50,897	4,905	
パチンコ事業収入	45,255	50,139	4,884	高貸玉店舗 24,682(+2,925) 低貸玉店舗 25,457(+1,959)
航空機リース事業収入	737	758	21	
パチンコ事業費用	46,396	44,791	▲1,605	店舗運営人件費の減少 ▲1,186
航空機リース事業費用	444	464	20	
一般管理費	2,082	2,004	▲78	パチンコ事業、航空機リース事業以外の会社運営経費
その他収入	6,142	5,025	▲1,117	雇用調整助成金受取額の減少 ▲1,701
その他費用	431	1,949	1,518	店舗減損損失の増加 +1,243
営業利益	2,781	6,714	3,933	
金融収益	154	156	2	
金融費用	1,458	1,284	▲174	
税引前中間利益	1,477	5,586	4,109	
中間利益	689	3,416	2,727	
EBITDA	7,854	11,187	3,333	

(注) EBITDA は、中間利益に金融費用、税金、減価償却費(遊技台償却費を除く)及び外貨建資産換算差損益を加えて計算しております。

5. 財務概況



連結財政状態計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	前期末 (2021/3)	当中間期末 (2021/9)	増減	当中間期末の主な内訳・前期からの増減等
資産合計	301,073	286,871	▲14,202	有形固定資産 115,673
				使用権資産 75,728
				現金及び預金 51,249
				繰延税金資産 11,833
				リース債権 7,511
負債合計	169,101	155,548	▲13,553	リース負債 90,384
				未払金・未払費用 14,715
				有利子負債 32,342
資本金	15,000	15,000	-	
剰余金等	116,972	116,323	▲649	中間利益 3,416
				前期期末配当支払 ▲1,505
				自己株式の取得及び消却 ▲2,241
				その他の中間包括利益 ▲319
資本合計	131,972	131,323	▲649	連結自己資本比率 45.8%
負債及び資本合計	301,073	286,871	▲14,202	

連結有利子負債及び自己資本比率（IFRS）

（単位：百万円）

【連結有利子負債】

	前期末 (2021/3)	比率	当中間期末 (2021/9)	比率
現金及び預金	74,661	24.8%	51,249	17.9%
有利子負債(パチンコ事業)	23,629	7.8%	22,447	7.8%
有利子負債(航空機リース事業)	10,338	3.4%	9,895	3.4%
ネットキャッシュ	40,694	13.5%	18,907	6.6%
資産合計	301,073	100.0%	286,871	100.0%

前期に申請した納税猶予分の支払実施及び遊技台投資に伴い、ネットキャッシュは約217億円減少。

【連結自己資本比率】

	前期末 (2021/3)	比率	当中間期末 (2021/9)	比率
資本金	15,000	5.0%	15,000	5.2%
剰余金等	116,972	38.9%	116,323	40.5%
純資産	131,972	43.8%	131,323	45.8%
資産合計	301,073	100.0%	286,871	100.0%

基幹会社ダイナムの概況（日本基準で決算実施）

（単位：百万円）

	前中間期 (2020/9)	当中間期 (2021/9)	増減	補足説明
遊技業収入	41,076	45,675	4,599	前年同期比増減 P : 5,247 S : ▲648
自販機手数料収入	1,381	1,547	166	
販売費及び一般管理費	44,858	44,786	▲72	
営業利益	▲2,401	2,436	4,837	
経常利益	854	4,542	3,688	
特別利益	－	－	－	
特別損失	114	192	78	
中間利益	371	2,878	2,507	
	前期末 (2021/3)	当中間期末 (2021/9)	増減	補足説明
総資産	141,000	130,868	▲10,132	流動資産▲27,774 固定資産17,643
負債	54,542	43,000	▲11,542	未払法人税等▲10,033 借入金▲2,677
純資産	86,457	87,868	1,411	中間利益2,878、親会社への配当支払▲1,465
自己資本比率	61.3%	67.1%	+5.8	

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報につきましては開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い致します。

なお、いかなる目的であっても、当社の事前の同意がない限り、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

(株) ダイナムジャパンホールディングス 総務グループ

mail : info@dyjh.co.jp